

平成 30 年度第 3 回日野市入札及び契約等監視委員会議事概要

開催日時場所	平成 31 年 1 月 24 日（木） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 20 分 日野市役所 5 階 501 会議室	
出席委員	委員長 藤村 和正（明星大学理工学部教授） 委 員 島 弘毅（弁護士 島法律事務所） 委 員 芦田 健太（税理士 芦田健太税理士事務所）	
議事次第 1. 開会 2. 審議事項 （1）抽出案件について（平成 30 年 10 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの総務課契約締結分） 3. その他 4. 閉会		
質問・意見		回答
2（1）抽出案件について ・ 抽出案件の概要説明を事務局に求める。		・ 今回の審査対象期間は、平成 30 年 10 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までとなっています。 この間に総務課で契約締結した案件の総数は 226 件と、前年同時期とほぼ同数となっております。 ・ 全体に占める特命随意契約案件の割合は約 30%と、前年同時期と変わりはありません。 ・ 全体に占める落札率 95%以上の案件の割合は約 74%、落札率 50%以上 95 未満の案件の割合は約 24%、落札率 50%未満の案件の割合は 3 %未満となっており、前年比、2 ～ 3 %ずつ落札率の高い方と低い方へと流れた結果となりました。
○工事について ・ 「日野市立大坂上中学校ブロック塀改修工事」について、2 度の不調の後、設計金額を見直して当初の設計金額から 1 .		・ 本件は、大坂上中学校東側境界及びプール西側ブロック塀の改修工事です。他市の状況は把握していませんが、日野市に

5倍に増額しているが、他市を含め同様のケースはあるのか。 ・ 辞退する理由として「技術者がいない」という業者が多いが、発注工事案件が集中したのか。 ・ 初回の入札が不調になった後、設計金額を変えずに次の入札を行った理由は何か。 ・ 今年度中に契約が決まらないというケースはあるのか。 ○賃貸借について ・ 「日野市立図書館及び学校図書館図書貸出管理システム利用」について、契約業者はこれまでと同じ者なのか。 ・ プロポーザルで提出された内容について評価は行うのか。 ・ 保守業務は何年間契約するのか。 ・ システム利用の契約は通常、何年間行う	においても同様のケースは多くありません。本件は増額にあたり、業者からの聞き取りや現場確認を行ったうえで、新設フェンスの基礎部分について仕様の修正を図ったものです。 ・ 今年度は地震によるブロック塀倒壊事故を受け、市内小中学校のブロック塀を改修する案件は多くありました。また、ブロック塀以外の工事も発注していたこともあり、技術者の確保が困難であったと考えています。 ・ 初回の入札における辞退の理由が、「積算額と予定価格の乖離」という理由ではなく、「技術者がいない」というものであったため、その時点では設計金額は適正である、と判断をしたためです。 ・ 過去の案件ではあります。翌年度に改めて入札を実施いたします。 ・ 日野市立図書館及び学校図書館図書貸出管理システムは、サービス向上に向けた機能の充実を目的として、システムの構築から実際の利用、保守業務までを一括して企画提案を受け、公募型プロポーザル方式により業者を選定しました。本件は提案を受けたうち、利用契約について締結したものです。契約業者は、同じグループ会社に属していますが、これまでとは別会社であり、契約金額は今回の方が高くなっています。 ・ 選定委員会を設置し、評価を行います。 ・ 延べの契約期間は5年ですが、実際の契約は年度ごとに締結します。 ・ 日野市における他システムの利用状況を
--	---

ものなのか。 ・ 契約期間中、対象施設数に増減が生じた場合の対応は。 ○設計について ・ 「日野市立豊田小学校校舎改築及び大規模改造工事基本設計業務委託」について、実績を参加資格要件に付す案件のなかで、本件のように落札率が低くなるのは、例外的なことなのか。 ・ 地域要件を三多摩まで広げた理由は何か。 ・ 落札率が低い案件では、質の確保が保たれていることの確認が必要になる。そのため、発注者側の見極める目が問われることになると思う。 ・ 「日野市立日野市民会館空調設備及び一般照明設備 LED 化改修工事設計業務委託」について、制限付一般競争入札を実施した際の参加資格要件で、一級建築士の有資格者であることを選択肢のひとつとして求めた理由は何か。 ・ その制限付一般競争入札における辞退の理由は何か。	みると、その多くは10年が一つの目安になっています。本件のように5年の契約期間が終了した時点で必要なバージョンアップを行い、更に5年間の契約を締結する、という形です。 ・ 対象施設数等の契約内容に変更が生じることで契約金額にも影響がある場合には、変更契約を締結します。 ・ 本件は、日野市立豊田小学校校舎の改築と市内小中学校における大規模改造工事についての基本設計業務です。過去10年以内に同様案件の実績を有することを入札参加資格要件に設定し、入札を行いました。地域要件を三多摩まで広げた案件では、落札率が下がる傾向があります。 ・ 入札参加資格要件で定めた実績を有する市内業者数が少ないことが見込まれたため、地域要件を広げたものです。 ・ 主管課にて問題なく業務を履行していることを確認しているところです。 ・ 本件は、日野市民会館の空調設備と一般照明設備のLED化に係る実施設計業務です。建築士法の規定により、一定規模の建築物の設備設計を行う場合には、設備設計一級建築士もしくは一級建築士が設備関係の規定について確認を求めること、と定めているためです。 ・ 技術者を配置することができない、という理由です。
--	---

○修繕について ・「日野都市計画道路３・４・２４号線道路整備に伴う道路施設修繕」について、近接地で先に施工中の工事作業を進めていかなければ、本修繕の必要性というのは判断できなかったのか。 ○委託について ・「土方没後 150 年 P R 情報誌制作業務委託」について、土方歳三や新選組関係のご子孫が会員として所属している団体であるが故に権利関係を使用した情報誌が制作できることからすると、随意契約としたことに問題はない。	・本件は、日野都市計画道路３・４・２４号線道路整備工事に伴い、污水管撤去等の道路施設修繕を実施したものです。地中に埋設している污水管が工事を施工するうえで障害となったため撤去したもので、工事を施工していくなかで発見されたものです。 ・本件は、日野市のシティプロモーションに繋げる目的で、土方歳三と日野市の関わりが分かる情報紙を作成するものです。地域性を活かした情報で日野市の魅力を発信できるのは、当該団体しかいないと判断したものです。
--	--